

事業所名

児童発達支援事業所シュエットぱち

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

23日

法人（事業所）理念		子どもたちの自ら伸びようとする力を信じ、発達の芽を見逃さないように大切に育みます。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 児童指導員・セラピスト・看護師などの専門職がそれぞれの立場からお子さんを観察し、意見交換、共有してよりよい支援の方向性を職員全体で模索し、一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行います。 地域や関係機関とも連携しながら、社会性や人間関係の成長発達を支援します。 						
営業時間		9時	30分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所持、送迎時の子どもたちの様子を把握し、看護師・職員で共有します。 睡眠、食事、排泄などの基本的な生活習慣を身につけられるように支援します。 お子さんの障害特性および発達段階などに配慮し、小さなサインから心身の変化に気づけるようにきめ細やかな観察をし、支援します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 保有する感覚（五感）を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します。 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および基本的技能の向上、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持、向上を図ります。 感覚の特性（過敏、鈍麻）などに配慮しながら体操や触れ合いなどを通して働きかけ、ボディイメージを構築できるよう支援します。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 個々のお子さんの発達段階を把握し、楽しく遊びながら知識の習得に繋げられるよう支援します。 視覚・聴覚・触覚などの感覚遊びの中から、認知の基本的概念の形成を促します。 自分から「やってみたい」「楽しい」「もう一回やりたい」と活動に意欲的に取り組めるように環境を設定します。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 大人とのかかわりの中で他者への関心や注意、やりとりの中で反応の幅が広がるように支援します。 声のトーンや強弱、簡単な発声などで自分の要求を伝えようとする気持ちを育て、意思表示を尊重します。 遊びなど楽しい活動の中で、人とかかわることへの興味関心を広げられるよう支援します。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 思い通りにならないときに、気持ちの切り替えができるように支援します。 お子さんの様子を見ながら友だちとのかかわりへの誘いかけなどを徐々に行い、社会性や対人関係の発達を支援します。 小集団の中で、集団に参加するための手順やルールが理解できるように支援します。 						
家族支援	保護者面談の機会を定期的に設け、事業所での様子をお伝えするとともにおうちでの様子や困りごとを聞き、よりよい生活が送れるように支援します	移行支援	土曜日に兄弟や近隣の子どもたちと遊ぶ場を設け、同じ場で一緒に過ごす中からインクルーシブな関係づくりができるよう環境を設定します。					
地域支援・地域連携	保護者の方の同意をいただいた上でお子さんが通う保育園や関係機関と連携を深め、体調や心理面、支援の方向性などの情報を共有し、協力してよりよい支援の方向性を模索します。	職員の質の向上	定型発達の子どもの発達段階表を参考に子どもの発達や療育的なかかわりについて学んだり、食べる力を育てるための研修を行ったりなどして職員の知識、支援技術の向上を図ります。					
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> お昼やおやつを自分たちで作って食べよう会 お兄ちゃん、お姉ちゃんたちと一緒に遊ぼう会 お花見会 クリスマス会 水遊び 							